

# 2014年度自己点検・評価報告書(シート)

## 【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

### ＜大学＞

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

### I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	4 教育内容・教育方法の改善に向けた組織的取り組み
中項目	
小項目	4.0.1 F D活動
要素	教育内容や教育方法の改善に向けた組織的取り組みが適切に実施されていること。
小項目	4.0.2 学生評価
要素	教育内容や教育方法についての学生による評価を把握しその結果を教育内容や教育方法の改善に活用する取り組みが適切に実施されていること。

### II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

#### 《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 授業参観と意見交換会への参加者実数を1学期あたり20人以上にする。	→授業参観・意見交換会の参加者数	C	B	B	B	C
2. 各種FD活動のうちの何らかの活動に任期制実務家教員の4割以上、兼任教員の1割以上、非常勤講師の1割以上が参加する。	→各種FD活動への任期制実務家教員、兼任教員、非常勤教員の参加者数	C	C	C	C	C

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

#### 《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	C	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 自己評価・FD委員会を中心に取り組んだ。メールや文書での案内に加え教授会でも案内するなど、授業参観への積極的な参加を促している。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 他の教員の授業を見学しあらたな発見をすることで、その後の授業運営の参考とすることができている。ただ、目標である1学期あたり20人には達しておらず、参加者の増加が課題である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 目標値を念頭に、複数年継続的に参加していない教員には直接声掛けするなど、参加促進のための新たな試みを実施する必要がある。	☆
		その他	☆

目標2	C	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 自己評価・FD委員会を中心に、授業参観や判例研究会への参加を呼び掛けた。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 任期制実務家教員については若干の参加実績があったが、兼任教員や非常勤講師についてはほとんど参加実績がなかった。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 本取組に関する理解を高めるよう努力し、特に任期制実務家教員の積極的な参加を促すようにしたい。	☆
		その他	☆
備考			☆